

仙台市荒浜地区の震災経験伝承プロジェクト

R6年度みやぎ震災伝承連携推進事業

事業概要

荒浜地区におけるかつての暮らしと東日本大震災による被災経験、震災から13年経過した現在の地域に対する心情などを撮影したオーラルヒストリー映像を制作し、インタビュー集「声を掬う」第2集造本の素地とする。

東日本大震災の経験と荒浜地区のかつての暮らしを伝承することを目的として学校教育現場で活用できる映像を制作し、オーラルヒストリー映像を防災教育教材として周知・啓発するためのホームページを整備する。

事業内容

1. 震災当時の荒浜地区町内会長、荒浜小学校教職員のインタビュー記録映像の再編集
荒浜地区に関わる当時子どもだった方々6名のインタビュー映像、荒浜小学校卒業生によるトークイベントの映像編集。延べ13本の映像を制作
2. 3/8～3/11の4日間、上記映像の上映会を震災遺構仙台市立荒浜小学校で開催
3. 河北新報次世代塾、東北少年院、七郷小学校教職員へ講話を実施





成八年
度卒業
生一同
のあび
た荒浜
の緑の
よびし
る美し
さ
組んで
いこう
育てよ
う
若松会



「声を拘う」防災学習問いかけ（一例）

（1）震災前後の荒浜地区の変化についての問いかけ例

- ・東日本大震災が起こった後、荒浜地区に住んでいた人の暮らしはどのように変わりましたか。

（2）地震や津波による暮らしの変化についての問いかけ例

- ・皆さんの住んでいる場所で地震や津波が起こったら、どんなことが起こりますか。

（3）インタビュー者の心情に関する意見を聞く問いかけ例

- ・動画で話していた人は、地震と津波で変わってしまった故郷について、どのように話していましたか。

（4）動画内容を自分事と捉える問いかけ例

- ・地震や津波が起こる前に、おうちで何をしていたとよく思い出しますか。
- ・動画を見て、おうちの暮らしで、どんなことを伝えたいですか。

防災学習ワークシート（画）

第 1 組

（1）地震や津波が起こると、みんなの暮らしはどのように変わると思いますか。

（2）身の回りに地震や津波の影響を受けた人がいたら、どんなことに気を付けますか。

（3）地震や津波からいのちを守るために、自からどんなことをしますか。



